

かめのり大学院留学アジア奨学生

月次報告レポート

(2022年05月)

一. 研究内容について

今月は6月の日本地域福祉学会にて発表する資料を準備している。題名は「中国上海市における社区居宅养老服务供給の現状と課題に関する研究—サービス供給のプロセスに焦点をあて—」である。高齢者が在宅サービスを利用するまでのプロセスに焦点を当てるため、以下にプロセスについて、簡潔に説明する。

本研究はインタビュー調査を通して、介護保険制度の試行の中で、高齢者が社区居宅养老服务を受けるまでのプロセスについて【サービス利用のきっかけ】【介護保険制度の申請と利用】【サービスの選択と申請】【サービス利用】、という4つの段階に分けた。以下、段階ごとに説明する。

まず、【サービス利用のきっかけ】段階について、居民委員会やサービス供給者等の介護保険制度に対する情報の提供や、住民間の紹介等のインフォーマルな社会関係による周知が含まれている。さらに、生活課題のある高齢者に対し、居民委員会の職員による定期訪問といったアウトリーチや、高齢者からの申請や地域住民からの相談などもある。

次に、【介護保険制度の申請と利用】段階について、居民委員会と街道弁事処には養老顧問が設置されている。養老顧問は、介護保険制度を利用する意向がある高齢者に対し、制度やサービスに関する情報、及び申請方法を提供する者である。ただし、養老顧問は、情報提供の役割しか担当しておらず、高齢者の生活課題に対するアセスメントは実施しない。申請は高齢者本人が街道に付属されている機関で行う。申請後、第三者機関が高齢者を訪問し、要介護認定を行う。認定の結果は街道が高齢者に交付する。

次に、【サービスの選択と申請】段階について、現在、上海市における社区居宅养老服务においては、介護保険制度の給付サービスは訪問介護しかない。介護保険制度を利用する場合、高齢者自身が判断し、訪問介護のサービス供給者を選択し、契約する。また、訪問介護以外のサービスについて、高齢者は自分の意向で、居民委員会と街道から情報を得て、デイサービス等の社区养老服务を利用することもできる。さらに、一人暮らし高齢者等に対しては、居民委員会の職員がその状況を把握しながら、民間団体に連絡し、ボランティアを派遣する場合もある。

最後に、【サービス利用】段階について、訪問介護を利用する場合、認定区分により、利用時間数が定められている。支援内容は、身体的介護や家事援助等が含まれ、高齢者とホームヘルパーが相談した上で自由に決める。また、サービスを利用する際に、政府はサービス供給者に対する監督や利用者からの苦情解決を担当し、サービスの質に関する調査も定期的に行う。

二. 生活について

上海のロックダウンは今月末くらいに徐々に解除され始めました。全市範囲のロックダウンはまだ解除されていませんが、区内の移動や外出が認められるようになりました。初めて自分のコミュニティを出て、スーパーで買い物したり、飲食店のおいしい食べ物を食べたりしたとき、涙が出るほど感動しました。スーパーでの買い物等は非常に普通の行動なのに、長時間の隔離生活を経て、それらの普通の生活行動も珍しくなり、日常生活の中の普通の幸せの意義を分かるようになりました。スーパ

一の近くに飲食店がたくさん揃っている街があり、そこに人が集まりました。その街で、Tシャツを着ている若者たちは上海語でしゃべったり、列を並んで中国の独特な食べ物を買ったりしました。食べ物のおいをして、その街の風景を見たら、2月に帰ってから初めて「これは私の故郷だ」という思いが湧いてきました。

一般人の生活は何か、その生活をどう確保できるか、コロナの前に全然考えていなかった問題を、今回の上海でのロックダウン生活の経験を通して、考えさせてはじめました。一日でも通常の生活に回復できるようお祈りしています。